

# 揖斐農林事務所の普及活動状況

令和3年4月23日現在

## 今月の重点活動

### ■担い手育成 揖斐地域新規就農研修開始式、第1回就農支援協議会

4月14日にJAいび川担い手サポートセンターにおいて、令和3年度の就農研修開始式及び第1回就農支援協議会を実施した。今年度は2名の研修生が研修拠点であるJAいび川担い手サポートセンターで受講する。開始式では、各々が抱負を語り、その後揖斐農林事務所長が激励を行った。

また、式終了後、第1回揖斐地域就農支援協議会を行い、今年度の支援協議会の活動について検討した。農業普及課は、関係機関と連携しながら、就農相談や研修の実施など営農定着に向けた支援を行っていく。



【研修生（中央2名）】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■小麦種子生産 採種ほ出穂期審査

大野町では約40haのほ場で小麦「イワイノダイチ」の種子を生産している。

優良な小麦種子を供給するため、4月13日に生産者立ち合いの下、種子審査員である県と種子審査補助員であるJAいび川、JA全農岐阜、米麦改良協会が連携して出穂期のほ場審査を実施した。

今年産の小麦は概ね順調に生育しており、優良な種子の確保が期待される。

今後は5月下旬に糊熟期審査を実施し、6月上旬の収穫を予定している。



【生育調査の様子】

### ■かき かき振興会技術部会が開催される

4月20日に大野町かき振興会の技術部会が開催され、5月の柿の栽培管理作業について検討された。特に2月下旬からの高温により開花が早くなる予測で、ミツバチの導入時期や昨年問題となった病虫害防除について検討された。

農業普及課からは、気象情報とともに柿の開花予測や、4月14日から実施している害虫のモニタリング調査の結果等情報提供を行った。

また、GAPに関する具体的な対策事例について説明し、取り組み推進を図った。

今後も気象状況等参考に園を観察し、引き続き栽培支援を行っていく。



【技術部会の様子】

### ■かき **かき振興会女性部総会が開催される**

4月12日に、大野町かき振興会女性部の総会が開催された。女性部では、柿ジャムやドライフルーツ、パウンドケーキ等を製作し、道の駅や和菓子屋等で販売を行っている。また、剪定講習会を開催する等栽培技術の向上にも努めている。

農業普及課から、これまでの生育状況や気象、今後始まる摘蕾作業、摘果作業の注意点、主要害虫や雑草の防除に関する情報提供を行った。またGAPの取り組みについて説明し、安全・安心な農産物づくりについて理解を得た。



【研修会実施の様子】

### ■いちご **親株管理研修会の開催**

4月15日から各地区で今年度の生産に向けての親株の管理について、研修会が開催された。農業普及課では、今後の栽培管理において、発生しやすい病害虫や作業のポイントについて情報提供し、育苗に遅れがないよう助言を行った。

いちご栽培では、安定した健全な苗を作ることが安定生産につながる。今後も農業普及課では、安定していちごが生産されるよう、栽培管理の支援を継続して行う。



【研修会の様子】

### ■なす **今年度の生産開始**

4月22日に夏秋なすの苗配布に合わせて、いび川夏秋なす生産組合の定植研修会が開催された。JAと協力し、今後の栽培管理や定植時の作業ポイントについて、情報提供を行い支援した。

また、今年度は新たな担い手育成のための「帰農塾」が開催されるため、農業普及課では、研修会の開催を支援し、夏秋なすの生産に向けて助言や指導を行う予定である。



【研修会の様子】

### ■茶 **一番茶の生育状況と生産支援**

本年は、春先の高温により生育が早まり、主要品種の‘やぶきた’は平年より10日早く、3月24日に「ほう芽（出芽）期」を迎えた。

4月9日頃から気温は平年値並みに戻り、前進していた生育が少しずつ平年並みに戻されている。それに伴い、昼夜の温度差が広がってきており、良質な茶葉の収穫が期待できる。

管内の生産組織では一番茶に向けた準備が着々と進められており、農業普及課では生育に合わせた肥培管理、病害虫防除、防霜対策を支援している。

美濃茶流通センターでは4月29日頃から共販会が始まり、5月の中旬頃まで行われる見通しである。



【茶のほう芽状況】